

その他の取り組み

TOPICS 1

温室効果ガス削減目標が「SBTi」の認定を取得

2050年カーボンゼロに向けた中間目標である、2030年に向けた温室効果ガス削減目標について、科学的根拠に基づく「2℃を十分に下回る目標(Well below 2℃)」として「SBTi (Science Based Targets initiative)」より認定を取得。併せて「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同も表明しました。再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、気候変動に関するガバナンスを強化し、適切な情報開示に努めます。

2021年4月



TOPICS 2

小型プロジェクター「FORESIGHT VIEW」を発売

小型プロジェクターの新シリーズ“FORESIGHT VIEW”より「CX-F1/CX-E1」を2021年3月19日に発売しました。2000ルーメンで世界最小・最軽量*を実現し、対面コミュニケーションの効果を向上。今後は当社独自の技術を生かして、スマートホーム/スマートビルディングなどに向けたプロジェクションモジュールを展開する組込み分野へも参入を図り、事業拡大を目指します。



2021年3月

*2021年1月11日時点。ISO/IEC 21118またはJIS X 6911準拠で明るさ2000ルーメン以上のプロジェクターとして。カシオ 計算機調べ

TOPICS 3

高円寺パル商店街でIT導入実証実験を開始

2020年11月より、商店街・地域の活性化を目的として、高円寺パル商店街振興組合とIT活用による来街者データの可視化に向けた実証実験を実施しています。対象店舗に電子レジスターや集客支援を行うサービスなどを導入。購買・顧客層・行動といった情報を収集・分析し、商店街の課題解決や店舗運営の向上につながります。

2020年11月



TOPICS 4

メディカル事業が海外展開をスタート

国内で販売中のダーモカメラ「DZ-D100」及びダーモスコープ「DZ-S50」のオーストラリア・ニュージーランドへ向けた出荷を2021年1月より開始。これらは画像管理用ソフト「D'z IMAGE Viewer」とともに既に国内の多くの医療機関に導入されており、将来的には皮膚がんAI診断支援システムとしての提供を計画しています。多くの国では皮膚がん発症率が高く、日本よりもダーモスコープ市場が大きいと想定され、今後、北米や欧州などエリア展開を図ります。

2021年1月

